

両神山(八丁尾根コース)山行報告

【山行日】2017年 11月 5(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 2,000円

【メンバー】CL:鈴木、稲村、大久保、関、
須藤、吉田

【コースタイム】岩舟支所P4:00=上落合橋登山口 P6:50/7:10~八丁峠 7:55/8:05~西岳 8:55/9:05~東岳 9:55/10:05~両神山 10:35/11:00~東岳 11:30/12:00~西岳 13:05/13:15~八丁峠 14:15/14:30~上落合橋登山口P15:05/15:15=岩舟支所P18:40



両神山に登りたいとリクエストがあり、この時季は混雑するので日向大谷や白井差コースは駐車が難しい。この時季でも比較的登山者が少ない八丁尾根コースを登ることにし、上落合橋の登山口を目指す。皆野町から国道299号を進み、志賀坂トンネル手前から左折し林道金山志賀坂泉に入る。林道を走り高度が上がるとカエデの紅葉に朝日が差し、真っ赤に輝く紅葉が素晴らしい。途中、



車を止め紅葉の写真を撮っている方が何人かいた。八丁トンネル登山口駐車場でトイレを済ませ、八丁トンネルを越えると上落合橋登山口に着く。路肩の駐車場にはすでに6台止まっており、空いているスペースに車を止める。準備を整えストレッチを行い、登山届をポストに投函しスタートする。

登山口のハシゴを登り、八丁沢に沿って右岸を登って行く。やがて沢を離れ、左手の尾根を急登し一汗かくと右へ山腹を巻くように登る。自然

林の紅葉が残っており、気持ちよく登り最後の急坂を登ると八丁峠に着く。峠のベンチで休憩し、リングや菓子を食べ体を休める。ここから少し下り「西岳1.8km、東岳1.6km、両神山頂2.6km」の標識に従って進むと、いきなりクサリ場が現れる。ここから行蔵峠までは6箇所のクサリ場を通り、2つのピークを越えて行く。さらに峠から急降下し、鞍部から長いクサリに取りつき登り切ると西岳山頂に出る。山頂からの眺望は素晴らしく、景色を楽しみながら水分を補給する。西岳からも急角度で下って行き、下り切るまでに3本の程のクサリ場がある。ここから凹角状の岩場を20mほどのクサリで直登し、小祠があるピークに登り着く。クサリを頼りに下



ると、いよいよ東岳への登りが待っている。何か所かのクサリ場を越え、グングン高度を上げて行き傾斜が緩くなりヤセ尾根をたどると東岳に出る。山頂にはベンチがあり、眺望も素晴らしく両神山



から戻って昼食をここで摂る予定だ。東岳から先はやっと岩場から解放され、樹林の山歩きとなる。3つばかりの小ピークを越え、最後にやさしいクサリを2本越えて尾根を左に進むと、両神山頂に飛び出す。狭い山頂は大勢の登山者で賑わっており、写真を撮るのも大変だった。ザックを降ろし360度の眺望を楽しみながら、ドーナツを美味しくいただく。秩父の山々や富士山、北アルプスまで望め、山座同定をゆっくり楽しんだ。クサリが苦手な O さんは頑張って登り、体験山

行の2人も快調に登り山頂でゆっくりと展望を楽しむことが出来た。眺望を楽しんだら山頂を後にし、来た道を戻り東岳に向かう。東岳に戻りランチタイムとする。ベンチに先客が居たが、空いている所

を借りて焼きそばを作る。山で食べる焼きそばは初体験らしく、皆さん美味しいと言って食べていた。お腹が満たされたら下山する。ここまで予定よりも40分早く、下山も問題なく下れると思ったが甘くは無かった。往路も復路も同じようにクサリ場があるが、復路は下りのクサリ場が長く急角度の為難しいようだ。体力的にも疲れが出て、登りのように体が動かないようだ。安全第一でゆっくり下り、八丁峠まで無事降りて来て休憩しリンゴを食べ体を休める。ここからはクサリ場



は無く、順調に下れると思ったが岩場の急降下で足の筋肉が悲鳴を上げ、O さんの足が止まった。休憩を取り漢方の68番を飲んだら回復し、無事に登山口に着いた。靴を履き替え、荷物を載せたら帰路につく。帰りも林道の紅葉を楽しみながら、登って来た尾根を見上げて「エ～あの尾根を登ったんだ！」と満足そうだった。途中、小鹿野町のセブイレブンに寄り、自分へのご褒美を買って祝福し岩舟に向かう。花園インター手前から熊谷市街まで渋滞したが、その後は順調に走りほぼ予定通り岩舟支所に帰着した。

